

令和元年度 第2回図書館協議会 会議録

- ◎開催日時 令和元年(2019年)10月17日(木)午後7時~9時
- ◎開催場所 野洲図書館 会議室
- ◎出席者 早川久登委員、松山裕子委員、五十嵐芳子委員、遠藤正一委員、川端初美委員、國松完二委員、下谷龍王委員、高野真知子委員、吉野澄子委員(合計9名出席、山本宗司委員欠席)
- 図書館長、専門員(司書)、生涯学習スポーツ課課長
- 傍聴者 なし

*配布資料について

ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会議事録とともに公開しています。

1. 開会

2. 議事

(1)「野洲市子ども読書活動推進計画 第3次(素案)」について

生涯学習スポーツ課 課長より説明

第2次計画の5年間の計画期間が終わるため、目標等を見直し第3次計画を策定している。第3次計画は令和2年度より5年間とし、必要に応じて見直していく。基本目標としては、“子どもが自ら進んで読書を行う習慣を身につけることができるよう施策を推進する”としている。

(以下、「野洲市子ども読書活動推進計画 第3次(素案)」に基づき、主に図書館にかかわりのある項目について説明)

【会長】聞きたいことはありますか。

【委員】図書館ボランティアとp9に書いています。自治体によって状況が異なる部分であると思いますが、読み聞かせ、朗読、本の整理とか、そういうことを含め、野洲ではどの程度やっているのか聞きたい。それによって図書館としてボランティアが必要なのか、必要なら市民にお願いもできるのではないのでしょうか。

【課長】学校図書館に入っているボランティアをイメージしています。

学校図書館は、学校教育課から聞いているところによると、本の貸出をしているところもあり、学校によってまちまちです。ボランティアと連携できていない学校もあります。定期的に案内を作ったりしているところもある。できれば、ボランティア同士が連携しながら仲間を増やしてもらえたらと考えています。野洲図書館のボランティアが学校でお話会をしているケースもあります。

【委員】小学校では、読み聞かせのために、いくつかのボランティアグループが年に何度か来て来てくれています。学校応援団として、草刈りやミシンの使い方のレクチャーとかいろいろある中で、図書室の本の整理や貸出の手伝いをしてくれている。(前任校の)三上小ではよくしてくれていました。中主中学校ではボランティアではなく、スクールサポートスタッフとして入ってくれている人に図書室をやらしてもらって、活性化しています。ボランティアの活動は、小学校はやりやすい、中学校は入っていきにくいという声も聞きます。

【会長】他にはありませんか。

【委員】2点あります。p6の③、団体支援の項目の削除は、どういう背景があつてのことですか。またその下の③バリアフリー図書とは何ですか。

【館長】バリアフリー図書には、p11の説明(障がいのある人の読書に配慮した本や障がいを理解するための本)にもありますが、さわれる絵本や、活字が読みにくい人にも読みやすいように作られたLLブックなどがあります。

【委員】点字図書は置いていませんか。

【館長】点訳ボランティアが点字シールを絵本に貼ってくれているものがあります。③については、団体支援をしないということではありません。

【委員】(③について)現状をおはなしすると、ボランティアグループの「夢ふうせん」については生涯学習スポーツ課ではなく野洲図書館のお手伝いをするという位置づけでやっています。教育委員会からの支援を受け、というのは違っている。貸館の減免などで協力はしてもらっていますが、そもそも③がこの部分にあったこと自体が間違いのような気がします。

【委員】他の文章の削除も、いろいろ整理したということですか。

【課長】読書ボランティアとの関係性も変わってきています。ボランティア講座などで支援するというところから、連携したり手伝ってもらったりという関係になってきています。

【会長】他にはありませんか。

【委員】p1～p5の部分で、学校図書館司書の配置はありますか。

【課長】いまは配置されていません。

【委員】学校司書については、地域格差が大きいと聞いています。全部の学校に入っている自治体もあります。野洲市は後れを取っているのではないですか。

【課長】学校司書の配置についてはできていない。司書教諭は頑張ってくれているが、その部分で弱いということとは否定できない。引き続き支援を目指していきたい。

【委員】学校の先生は忙しいので、支援してもらえればと思う。

【委員】p10の蔵書管理について、司書教諭には不可能です。担任を持ちながらの現状では不可能に近い。p2の学校司書については、もっと強く言っていただきたい。いままで、学校司書が欲しいという声を学校が強く上げてきたということはなかった。(学校図書館の管理を)現状では学校現場に求められても無理です。学校司書の配置をすすめてほしい。

【委員】小学校は6校でボランティアが活動しています。10年ほど前に学校応援団事業が始まる中で、野洲小学校では学校図書館に多くのボランティアが関わっています。応援団の中のボランティアは30名ぐらい。コーディネーターの方にも活躍していただきました。学校教育課はボランティアの養成・育成から撤退と書いていますが、その中で読書活動推進とはどのような形で進めていくのか、読んだ中では5年前からの前進は感じられません。本の整理の仕方、運営の方法の研修をしてもらえたらと思いますが、学校にはお願いできない。

【課長】専門的な内容については、野洲図書館にも協力してもらえると聞いている。アドバイスはできます。地域と図書館と学校をつないでいければと思います。

【会長】学校図書館の話は図書館協議会の場でいつも出ます。学校司書と書いていることは進歩と解釈したい。

- 【課長】学校の先生も、教育課程が増えている、その中で学校図書館は手一杯ということもわかります。ただ、学校図書館がこれでいいとは思っていないと思う。少しでも子どもに本が届きやすい環境を、その中で何ができるのか、ボランティア、図書館のアドバイスの好循環を作ればと思います。
- 【委員】p5 は、推進ではなく協力体制と明確に書いていただけるとよいと思います。
- 【課長】赤字で書いている通り、図書館も待つだけでなく出かけていくという方向でと考えています。
- 【会長】p2 の図の中で図書館はどこに入るのですか。
- 【課長】「地域」の中に入ります。
- 【委員】そこを明確にしてもらわないと。図書館は、ブックスタートなどたくさん活動をしているので、もっと書いてもいいのではないですか。
- 【課長】計画中「図書館」としか書いていないところがたくさんある。別の委員会でも指摘を受けたが、これらは野洲図書館を指しています。
- 【会長】野洲図書館のことを書いているのに、“野洲図書館”を書かないのはどうでしょうか。地域といわれると、野洲図書館のことかぴんと来ない。
- 【委員】学校の実感としては図書館には助けていただいているというイメージがあります。
- 【会長】図書館のやるべきことを明確にまとめたほうがいいと思います。
- 【委員】文章として「野洲図書館」とスタートしているのに、「県立図書館をはじめとする」と文中に入る。オブラートで包むような印象もあります。
- 【委員】p11の学校司書のことですが、学校図書館法の改正があり、学校司書については“置くことができる”と書かれています。これは、すぐではなくても置く方向で努力せよということ。学校司書の資格も、資格をどう認定するのかを今、国がすすめているところです。学校司書の教育や運営方法の授業をどうしていくか、いくつかの大学でモデル的に科目を増やしています。これから5年間の中には、この書き方では間違いになってしまいます。県内で学校司書の配置がないのは、甲良と野洲だけです。5年の計画なら、もう少し学校司書の配置について踏み込んで書けないでしょうか。今ボランティアがやっていることは、本来学校司書のやるべきことです。学校司書がいらないから、ボランティアにやってもらっている。計画としてはもう少しきちんと書いたほうがいい。
- 【会長】p13の目標値について。この2項目は、本質的に同じことではないですか。
- 【館長】関係していますが、違います。
- 【会長】1,2歳の子が自分のカードで借りずに親のカードで借りるという件については、下の項目でも同じことではないですか。
- 【館長】そうです。そこで、もう一つ、児童書の貸出冊数を項目として復活させることも考えています。これなら、保護者が借りた数も入ります。ただ、中学生は児童書は借りないので、ここは0-12歳の人口にすることになります。
- 【会長】0歳の子がカードを持っていないことについてはどうですか。
- 【委員】「子どもの実利用率」の項目については、15歳以下のカード所持者の利用率ということでもいいのですか。「子ども1人当たり児童図書貸出冊数」は単に児童書の貸出冊数としては、親が借りる分も含めて出るのでよいですか。
- 【館長】中学生がどうか、というところもあるのでまだ検討中です。
- 【委員】子供の実利用は階層によって開きがあります。0-6歳、カードを自分で持つようになる7-9、10-12、

13-15歳。現実には大きな開きがあるので、平均するとだいたい31%というところですか。

【館長】目標数値としては平均の数値ですが、元になったそれぞれの年代の数値の内訳は、報告書に記入しておくこともできます。

【委員】小さい子どものカードの使い方は図書館によってまちまちです。自分のカードで借りてほしいという図書館もあれば、親のカードでもいいとしているところもあります。

【会長】目標値の小学校の朝読について。現状100%達成できているものを目標とする必要はあるのですか。

【課長】小学校で週2回の実施をなんとか確保しています。授業時間の確保の中で、やめたいという声も聞きますが、せめて週1回でもやっていきたいと考えています。

【会長】それなら、50%を目標にして、週1回を2回に上げていく方向ではどうですか。

【課長】何クラスできているかということもあります。朝はできないので、昼にやってもらっているところもあります。

【会長】“一斉”としてやらせるべきなのでしょうか。そうではないのでしょうか。

【委員】一斉にこだわらず、朝ではなく、違うものでもいいのではないですか。現実の時間の中で、いったん、なくてもいいのかもしれませんが。

【委員】p9で学校司書の配置について、対応を県に求めるとありますが、県に求めるものではないのでは。

【委員】図書館の予算が、県への地方交付税に含まれていると聞いたことがあります。その部分で県に要望できないのですか。

【委員】地方交付税については、人口ごとに算定基準があって国から直接自治体にきます。図書館の運営については、各自治体、国からのお金の倍ほどをかけて運営しています。問題になるのは、学校図書館に使われていないのではということですが、これは自治体の問題です。交付税には色がついていないといわれますが、地方自治の中で何にどうお金を使うかということは自治体の自由です。新聞の記事で、学校図書館については全国のほとんどの自治体はが交付税のお金を使っていなかったというのがありました。今は以前よりは改善されています。学校図書館の算定基準はあまり見たことがありませんが。

【委員】この3次計画は、今後どのようなスケジュールになっていますか。

【課長】パブリックコメントは年明けになる予定です。定例の教育委員会議、社会教育委員会議にかけてからとなります。

【委員】この案は見られるようになりますか。

【課長】パブリックコメントでは、ホームページにも掲載しますし、紙媒体のものも図書館やコミセンなどにおくこととなります。

(2) 図書館評価について

【事務局】数値の訂正があります。評価項目「貸出冊数」の平成28年度の実績は549,616冊、平成29年度は541,477冊。

【会長】そうすると目標値を28年度で達成されていることになる。目標値54万冊は下げないでいいのか、上げますか。

【委員】事務局提案ということにすればよいのでは。

【館長】目標値を55万冊にします。

【会長】(表の)H30と目標値を比較して、未達成ということで、Cです。何かコメントはありますか。

【委員】守山市の新館開館の影響はありましたか。

【館長】ありました。

「30年度業務概要」P13の4に、野洲市民が守山市立図書館で借りた数値が出ています。前の年の2倍です。

【会長】コメントはありませんか。取り組みの内容として、休館日の見直しをしてほしい。月曜日の祝日が多いが、守山市の図書館は開いていて利用者も結構多い。工夫してもらえたら。

【館長】今のところ(月曜の祝日を)開けることは考えていません。休館日については、開館時間を縮小した時に全庁的に検討しました。

【会長】祝日の月曜を開けて、火・水と休む等の工夫はできませんか。

【委員】もし冊数を上げたいのであれば、月曜の祝日を開けるのもひとつの方法です。

【委員】外部評価を書くときに、“こういうことを検討してほしい”と書くことができます。一番のカンフル剤は新刊図書の数50%上げるということです。本が足りていない。一番の原因は本が足りないこと。(これをやれば)確実に増える。「検討してほしい」と書いてほしい。

【会長】②の中主分館の貸出冊数の項目。意見はありませんか。では①と同じでCです。目標値の見直しは、次回の設定値に検討ということでお願いします。

【委員】(中主分館での)お話をさせていただいた。地道にPRして、口コミで参加者を増やしていただきたい。図書館だけでなく、民生委員、ボランティアへもアクションをおこしてほしい。図書館に寄ってもらう働きかけをしてもらうこと。

【館長】委員が、中主分館のお話会について、いろいろところで実際にPRしてくださった。

【委員】地域で小さい子どもにかかわっている方に、つながりを持ってもらえたらよいと思います。

【会長】⑤団体貸し出しは未達成です。学校の利用が減っている。評価はCです。コメントはどうしますか。図書館へ来られない子どももいます。学校への働きかけをしてほしい。

【会長】⑥市民の登録率。これもCです。自分でも調べましたが、登録率が減っているから貸出冊数が減るのか、それとも1回に借りていく冊数が減っているのか、要因を調べたほうがいい。

【委員】野洲市民の何%がとしょかんのカードを持っているのですか。実利用ではなく

【館長】カードは6万枚ほど発行していますが、あまり意味のある数字ではないためはっきり統計をとっていません。

【会長】⑦の新規登録。Cです。

【委員】内訳はわかりますか。引っ越して転入なのか、子どもなのか、統計を出すのは難しいですか。

【会長】⑧問い合わせ件数。これは達成でAです。格段に増えている。

【会長】蔵書、郷土資料⑨は達成でA。郷土資料は利用されているのですか。

【館長】利用は少ないが、残すためのものです。

【会長】保存のために場所は圧迫されないのですか。

【館長】今のところ大丈夫です。

【会長】⑩おはなし会は達成です。

【館長】RIの目標値が抜けています。目標値1100人にしたい。

【会長】⑪連携事業は達成で、A。コメントはありますか。障がい者サービス。郵送・宅配9人でAですが、5年

後 2022 年に 18 人の目標値で、このペースでいけますか。

【委員】そもそも目標数が低すぎる。

【館長】長浜など他市の実利用と比較して設定しました。

【委員】これからの障がい者サービス、障がい者が 1700 人いる中で 10%を目指すというくらいの目標をたてないとサービスを進める指標にはならない。

【会長】高齢化もしていきます。次回には見直しをお願いします。

【委員】このサービスを知る手段はありますか。障がい者として登録している人に知ってもらう。個人情報だし難しいが、障がい者団体との協力の中で PR していったり、把握する。

【館長】一度も来たことのない人を待っていても仕方がない。関係課にパンフレットを渡してもらってはいるが、なんとか広げていきたい

【委員】野洲養護学校にパンフレットをおいてもらえると増えるかもしれない。発達支援センターも。

【会長】③接遇は A。前회가 81%なのですごく上がっています。

【委員】アンケートの満足度は、回答の「満足」と「やや満足」を合計していますが、「満足」だけにするとか、もっと満足度を上げる。本当に満足という人とするほうがいいのかも。向上心を持ってほしい。

【会長】“やや”をなくしてしまうやり方もある。次には考えていきましょう。全体を見ると、後半はいいが、前半に C が多い。

(3) 事業について

【館長】(説明)一日図書館員、2 日でそれぞれ 12 名。化石教室も盛況でたくさんの参加がありました。戦争を考える展示にも、たくさんの方に見に来ていただき、心のこもった感想もいただきました。図書館のお泊り会「としよかんでない」とは申し込み初日に満員になりました。次回は抽選にするなど考えたい。篠原小学校の出張貸出を2学期から学校の希望で始めました。学校の協力もあり、結果的に全校児童に図書館カードを発行しました。出張貸出日には、高学年も含めて多くの子どもが見に来てくれました。

(4) 図書館協議会交流会について

【館長】11/16(土)に開催予定です。

【委員】2 回参加しました。各市町の情報を知ることができます。

(5) その他

【委員】中主中、篠原小で学校図書館の研究発表があります。ぜひ見に来てほしい。

【会長】次回は、貸し出し冊数が伸びない件も話したいと思います。

令和元年度 第2回図書館協議会 次第

令和元年 10月17日(木)

野洲図書館 本館

午後7時より

1. 開 会

2. 議 事

(1) (第3次) 野洲市子どもの読書活動推進計画の策定について

(2) 平成30年度図書館の評価について

(3) 令和元年度の図書館の事業実施状況について

(4) その他

令和元年度 滋賀県公共図書館協議会交流会

* 次回の会議予定

6. 閉 会

配布資料一覧

事前送付資料

- ① 第3次 野洲市子ども読書活動推進計画（素案）

当日配布資料

- ② 令和元年度4月～9月利用状況
- ③ 出生年別利用状況（市民）
- ④ 市町村立図書館の統計（人口段階別）日本図書館協会調査
- ⑤ 令和元年度事業実施状況
- ⑥ 図書館だより 10月号
- ⑦ 図書館カレンダー
- ⑧ 図書館まつりチラシ
- ⑨ 朗読会のチラシ
- ⑩ わらべうたの会、講演会チラシ
- ⑪ 真鍋真さん 子ども恐竜教室チラシ
- ⑫ 真鍋真さん 講演会チラシ
- ⑬ 田澤雄作さん 講演会チラシ
- ⑭ 図書館ライブ チラシ
- ⑮ 「としょかんでないと」パンフレット
- ⑯ 次回会議日程調整表
- ⑰ 図書館関係記事

前回配布資料

- 平成30年度図書館の評価について
- 平成30年度図書館の事業実績

◆事業実施済

- ・朗読会 4月20日(土)
- ・リサイクル市 5月
- ・1日図書館員 7月24日(水) 25日(木)
- ・「化石とあそぼう」説明会 7月27日(土) *展示は7月半ばから予定
- ・展示 戦争と平和を考える企画展2019
「旧満州の戦争体験～松波益男さんが描いた記録～」7月27日(土)～8月18日(日)
- ・図書館お泊り会「としょかんでないと」9月15日(日)～16日(月)
- ・篠原小学校出張貸出 9月から開始

◆集会事業予定

- ・図書館まつり 11月9日(土)
- ・わらべうたの会、講演会 11月10日(日)
- ・ライブ 12月8日(日)「なんくるないさーず With オカリナぴぽ」

◆利用者アンケート

令和2年2月実施予定

(昨年度と同様、金土の2日間は来館者全員に声をかけ、日曜から1週間程度常設)